

## 関西広域環境保全計画（第3期）（中間案）に対する御意見・御提言と関西広域連合の考え方について

令和2年1月9日  
関西広域連合広域環境保全局

関西広域連合広域環境保全局では、平成29年3月に関西広域環境保全計画（第2期）を策定し、各種施策を実施してきました。令和元年度末で計画期間が終了することから、広域環境保全施策のさらなる推進を図るため、次計画期間の関西広域環境保全計画（第3期）（中間案）をとりまとめ、令和元年11月6日（水）から29日（金）までの期間に意見募集（パブリックコメント）を実施したところです。

意見募集をした結果、2名から延べ5件（うち意見の公表を望まないもの0件）の御意見・御提言をいただきました。

いただいた御意見・御提言に対する関西広域連合の考え方は以下のとおりです。

整理番号	御意見・御提案	御意見・御提案に対する考え方
1-1	交流型環境学習を関西の各地で実施したほうがよいのではないのでしょうか。 （HPでは、滋賀県の琵琶湖と和歌山県の天神崎の2か所だけなのですが、関西には自然豊かな場所がもっとたくさんあります。）	関西地域には自然豊かな場所が数多くあり、今後は、滋賀県の琵琶湖と和歌山県の天神崎以外でも交流型環境学習事業を展開していきたいと考えます。
1-2	幼児からの教育も大事ですが、たくさんの知識を身につけ、自分の考えをしっかりと持ち始める高校生や大学生の時期にも、たくさんの人が学べる機会があるといいのではないのでしょうか。 環境学習に興味をもつ一部の人たちは、自主的に学習し、行動をおこすことをしていますが、ほとんどの人は改めて考える機会がありません。 若者の興味をそそるような企画があればいいのですが。	高校生や大学生などの若者を対象に、環境学習の機会を設けていくことは、非常に重要なことであり、環境学習事業の実施にあたっては、積極的に参加を呼び掛けていきたいと考えます。 また、高校生や大学生などからアイデアを募集するなど、若者が興味を持って参画できる事業についても検討していきたいと考えます。
2-1	（環境学習について） 関西には豊かな自然がたくさんあるので、色々な場所で環境学習をしていくことが大事。	（1-1の考え方に同じ）
2-2	（プラスチックゴミについて） 市街地ではレジ袋、お菓子の袋、ペットボトルが道路や川に落ちているが、田舎の方では肥料（袋）やビニールシートが落ちていたりするので、対策が必要。	プラスチックごみ対策は、各家庭からだけではなく、工場、農地、観光地など様々な場所から排出されることから、分野横断的な課題として、広域連合全体で対策を検討していきたいと考えます。
2-3	（プラスチックゴミについて） また、プラスチックゴミだけでなく、ゴミ全般の散乱を抑えることが必要。	広域環境保全局では、マイバッグ運動やマイボトル運動などのプラスチックごみ削減につながる取組をはじめ、ごみ減量化に向けた3R（リユース、リデュース、リサイクル）の取組を推進しています。